

## 《ふるやニュース》

店が決まった。

●水谷市長は18年度の第1回定例市議会

で「網走の持つポテンシャルを最大限に生かしたまちづくりの実践により、市民が健康で幸せを感じる事ができる『健康な網走』の実現を目指す」と表明し、特に経済振興策については「グローバル化に伴う競争激化や人口減が進むなかで、基幹産業の農業、漁業および観光の持続的発展につとめたい」「中心市街地の活性化や企業誘致、ふるさと納税の拡大、高齢者の雇用対策、地域防災力の強化、空屋対策にも力を入れたい」などと述べた。

●国土交通省発表のオホーツク管内の公示地価は、人口減少や高齢化の進行などで住宅需要が減退、商業地も郊外型店への顧客流出などで土地需要が振るわず、全用途平均は1992年以降27年連続の下落となった。網走市もその例外ではなく、住宅地の1平方メートル当たりの平均地価は1万9200円が前年より300円、1・4%、商業地が3万4100円で同400円、1・3%、それぞれ下落した。

●市は公有財産の旧網走高校校舎を本年度中に解体する方針を決めた。築56年ということもあって老朽化が進み、耐震上の問題や外壁崩落などの危険性が高まったのが理由。同校舎は学校法人網走学園が08年に土地、備品などととも現金1億8000万円を添えて寄付されたもので、これまで青年会議所や福祉団体など公益性の高い市民団体が利用してきた。

●市職員を中心に多くの市民に親しまれてきた市役所食堂が6月末で閉店した。運営に職員厚生会が当たり、最初の数年間は民間、その後は市母子寡婦福祉会が委託を受けて営業を続けてきたが、運営団体から「人手不足で継続できない」との申し入れがあつて閉

●ブランド総合研究所はこのほど47都道府県と1千市町村を対象にして、「地域ブランド調

査の結果を発表、都道府県別で北海道は9年連続の1位になった。市町村別では昨年1位の函館市が2位、札幌市が前年と同じく3位だったが、オホーツク圏からは知名度の高い網走市を含めて1自治体も100選に入らなかった。

●博物館網走監獄などで撮影したテレビドラマ「破獄」が仏カンヌで開催された国際テレビドラマ番組見本市「ミブコム2017」で「ミブ・バイヤーズ・アワード・フォー・ジャパニーズ・ドラマ」のグランプリを受賞。同ドラマは吉村昭の長編小説を原作にしたもので、網走刑務所にも収監されていた天才的脱獄犯白鳥由栄にまつわる話を中心に展開。看守役として

●網走の観光拠点「道の駅流水街道網走」に映画「北の桜守」で実際に使用されたロケセットが移築された。同作品は吉永小百合主演の「北の3部作」の第3作で、ソ連軍侵攻の樺太から逃れた、戦後の壮絶な苦難の中「北の大地」網走などで生き抜いた親子に光を当てた物語。吉永をはじめ塚雅人、篠原涼子、阿部寛らが出演、滝田洋二郎が監督を務めた。

●2月10日に開幕した「網走オホーツク流水まつり」には35基の氷雪像が展示、最優秀賞には3Dアニメーション・コメディ映画のキャラクター「ミニオンズ」を製作した網走建管けずり隊が5連覇の栄冠に浴した。

●モヨロ貝塚館は同貝塚発掘70年を記念してパネル展を開催、1947〜48年と51年に行われた発掘の様子や発掘された住居跡などを写真や記録資料で公開した。

愛カッブルで、同館の大澤慶逸社長からは地元産の海産物セットと同館の年間パスポートが贈

●知床連山などが一望できる旧流水館跡地に緑地公園が誕生する。同地は現在の流水館の北側に位置する天都山の頂上―帯約3千平方メートルの広さで、市は約4800万円の総事業費を投じて来春の完成を目指す。

●市と市観光協会のまとめでは今期の冬観光は好調裡に終わった。なかでも流水観光砕氷船「おら」のシーズン乗客数は10万人を達成、網走湖のワカサギ釣りも、過去10年間のうちでも最高の成果を残した。期中を通して暴風や吹雪などがなく、国内外の観光客の入り込が多かったのが好調の要因。

●大型客船の寄港地として人気の高い網走港には、今年も5月に「カレドニアスカイ」、7月に「飛鳥II」が寄港。なかでも洋上のオアシスといわれる飛鳥IIは全長241メートル、5万142トンの客船で3年連続12回目の寄港。

●網走市がラグビーW杯2019日本大会の会場チームの「公認キャンプ地」に内定。道内ではほかに札幌市、江別市の2市が選ばれた。市内呼人にあるスポーツトレーニングフィールドの芝は世界最高峰との評価が高い。

●当市のパーキングポイントスノーボードチーム所属の網走二中2年の鴨部詩月さんは3月開催の全日本スノーボード選手権ジャイアントスラロームユース(14歳以内)女子の部で優勝。

●水産加工の牛渡水産が毛ガニの甲羅盛新商品「ケダマ」で2018年モンドセレクションで最高金賞を受賞。同賞はベルギーの民間認証団体が1961年に創設したもので、優れた技術で加工され、素材の良さを生かした美味に富んだ商品に毎年贈られている。

●網走南ヶ丘放送局(上野ひかり局長、局員26人)はNHK杯全国放送コンテスト道大会のテレビドキュメント部門で優勝。出品作は「マイリス」と題した自炊をテーマにした8分間の映像作品で7月下旬の全国大会に20年ぶりに出場。

●市がまとめた17年4〜12月までの9か月の新分別方式によるごみ排出状況は、総搬入量が前年同期比で2361トン、25%減の7060トンと大幅減少となった。生ごみを水切りした後排出したり、雑紙を細かく仕分けして資源ごみとして出すなどの習慣が市民に定着したのが理由。

●東京網走会の育ての親というべき林秀氏が5月1日に88歳で逝去されました。昨春秋の総会には大変お元気な様子でしたが突然の訃報でした。東京網走会では2代目の会長を13年間も務められ、当会の基盤を作って下さいました。ご冥福をお祈りいたします。

●昨年の総会・懇親会は参加者120名余り。網走からは名誉会長水谷洋一市長、工藤英治市議会議長、渡部眞美副議長はじめ市議会議員、市商工会議所、市職員が多数見えました。

●ニュースのまとめに当たっては「網走タイムズ」を参考にしました。

### ●網走出身者のお店

ごちそう家ほん太

水天宮店

金安圭介(向陽高校平成12年卒)

中央区日本橋蛸殻町2-2-4

電話 03-5643-0141